

川島地区 CS 小中学校共通学校評価アンケート【児童】分析

川島小学校 170人中 156人回答 回答率 91.8% 20項目

肯定群「とても思う」「思う」が85%を超えていた 6項目

問7	いじめはどんな理由があってもいけないことだ。	98%
問11	コンピュータやタブレットを使うのは勉強に役立つと思う。	91%
問18	交通マナー（並進しない、一旦停止など）を守っている。	90%
問3	友達と協力するのは楽しい。	85%
問16	将来の夢や目標を持っている。	85%
問17	自分でやると決めたことは最後までやり遂げるようにしている。	85%

○問7「いじめはどんな理由があってもいけないことだ。」が98%の肯定群ということから、人権を尊重する意識が高いことが分かります。意識は高いので、実際の学校生活の中で関わる人に対して、自他ともに大切に作る言動に結びつく指導を継続していくことが必要です。

○問11「コンピュータやタブレットを使うのは勉強の役に立つと思う。」が91%の肯定群ということから、コンピュータやタブレット端末の活用が進み、学習効果が上がっていることを示しています。

○問18「交通マナー（並進しない、一旦停止など）を守っている。」が90%の肯定群ということから、社会におけるルールの遵守や時間を大切にすることの意識が高いことが分かります。

○問3「友達と協力するのは楽しい。」が85%の肯定群ということから、学校生活においてグループ学習をしたり、清掃奉仕活動などを協力しながら行ったりすることに楽しさを感じていることが分かります。今後も協力することの重要性を認識させ、活動させていくことが必要です。

○問16「将来の夢や目標を持っている。」が85%の肯定群ということから、それぞれの児童の夢や目標を達成するために必要なことを、アドバイスするなど支援するなど、キャリア教育を充実させることが必要です。

○問17「自分でやると決めたことは最後までやり遂げるようにしている。」が85%の肯定群ということから、粘り強く自分の課題をやり遂げる努力をしていける児童が多いことがわかります。今後もそのモチベーションが保てるよう支援していくことが必要です。

肯定群「とても思う」「思う」が低い 5項目

問19	できるだけ本や新聞を読むようにしている。	54%
問1	自分にはよいところがある。	62%
問13	毎日かかさず、家でも勉強している。	65%
問9	授業や行事など発言の場面で、自分の考えがうまく伝わるよう工夫して発表している。	70%
問20	身の回りの整とんや部屋の掃除など、自分の事は自分でできている。	71%

○問19「できるだけ本や新聞を読むようにしている。」が54%の肯定群ということから、児童の約半数が、読書習慣の定着に関して課題が見られます。学校や家庭の読書環境を充実させながら、読書の習慣をつけていく必要があります。

○問1「自分にはよいところがある。」が62%の肯定群ということから、自己肯定感が低い児童が38%と多いことが分かります。児童の言動に対して褒めたり、励ましたりしながら、自己肯定感を高めていくことが必要です。

○問13「毎日かかさず、家でも勉強している。」が65%の肯定群ということから、35%の児童が、毎日の家庭学習がきちんとできていないことが分かります。学習内容の理解が不十分であるのか、学習環境に問題があるのか等の原因を究明し、学習習慣の定着を図る必要があります。

○問9「授業や行事など発言の場面で、自分の考えがうまく伝わるよう工夫して発表している。」が70%の肯定群ということから、自分の考えや思いをうまく表現できない児童が30%いることが分かります。どのように表現すれば、相手に対して自分の考えが伝わるのかについて、スキルを高めていくことが必要です。

○問20「身の回りの整とんや部屋の掃除など、自分の事は自分でできている。」が71%の肯定群ということから、約30%の児童が、学校や家庭で自分のすべきことの理解ができなかったり、することが分かっているにもかかわらず、何らかの理由でできていないことが分かります。家庭との連携を密にし、自力でできることを増やしていく必要があります。